



仕事と家庭の両立を考えて 診療時間を決めました

美咲歯科クリニック
院長

もり した やす ひろ
森下 泰弘さん

Q1「ご家族のことと、普段のお仕事の内容について教えてください。」

家族は私を含めて、妻と娘3人と犬が1匹です。

仕事内容については、虫歯の治療を中心とした一般歯科ですが、訪問歯科やインプラント、矯正などもあわせてやっています。

Q2「どのようにして仕事と家庭を両立されていますか？」

病院を開院するとき、仕事と家庭を両立するために考えたのは時間についてでした。

私の病院は朝8時から夕方5時までという診療時間で、他の病院に比べると少し短めなのですが、子ども達と接する時間など、家庭の時間との両立を考えて診療時間を設定しました。

Q3「普段行っている家事や育児の内容について教えてください。」

決めていることは特にはないのですが、心掛けているのは、その時に気付いたことをなるべくやるようにしています。また、日曜日の朝は私がご飯を作るようにしています。育児についても特に決めごとはありません。決めてしまうとお互いにストレスになるので決めごとは作らないようにしています。その都度その都度、私もやれることはなるべくするようにしていますが、やはり妻に聞かないと分からない事もあるので、妻と話し合っただけで家事をするようにしています。

Q4「夫婦や家族の中で家事を分担する中で気を付けていることはありますか？」

私の家は、妻が家にいて家事や育児を頑張ってくれているので、とても感謝しています。

仕事から帰った後は、少しでも家事をするようにして、妻の負担が重くなりすぎないように気を付けています。



Q5 「クリニックの経営者として、従業員の仕事と家庭生活の両立のためにしていることはありますか？」

開院するときに考えた時間設定は、私の家庭のための時間設定ではあるのですが、医療関係は女性の従業員が多いので、私が長い間勤めてきた経験上、家庭を持たれている方、子育て中の方が一番悩まれるのは、時間なんです。従業員には長



く勤めてもらいたいというのが私の考えなので、何時まで仕事をするのが従業員にとって一番いいかを考えたうえで、朝 8 時から夕方 5 時にしました。5 時に終われば、子ども達をあまり待たせることなく保育園に迎えに行けるので、従業員も働きやすいと思いました。自分の妻が働いたらどうだろうということを考えて、自分の家庭にあてはめて時間を決めました。

そうすることで、従業員が仕事と家庭生活のバランスをとることができ、家事や育児などをしながら仕事ができる、働きやすい職場環境になると思いました。

Q6 『男性は仕事、女性は家事』という考え方についてどう思いますか？」

私たちの親世代はそういう考えの方が多いと思いますが、今の時代は、女性が社会に進出することが当たり前になってきています。ただ、いまだに「男性は仕事、女性は家事」という考えをもたれている方がおられるので、変えていくには様々な努力や時間が必要だと思います。今の子どもたちからはそういう考えは無くなっていくと思いますが、私たちの世代が、徐々に社会で活躍する女性を応援する考え方に変っていくことで、子どもたちの世代が暮らしやすくなると思います。急には変わっていかないと思いますが、自分たちが「男性は仕事、女性は家事」といった考え方を変えていくという意識をもつことだと思います。

Q7 「男女が共に活躍できる社会を実現するために大事なことは何だと思いますか？」

私のやりがいは家族の笑顔、スタッフの笑顔、患者さんの笑顔です。みんなを笑顔にするためには、相手を思いやることが大事だと思います。

どこの会社でもそうですが、良いところはお互いに伸ばして、難しいことはお互いにカバーし合うということと、認め合うことが大切だと思います。

また、男女平等とはいえ、男性しかできないこともあるし、女性しかできないこともあると思います。完全に同じようにというのは難しいと思いますが、男女がお互いに認め合いながら助け合うことが大切です。一人ひとりがそうすることで全員が良い方向に進んでいけたら、みんなが活躍できる社会になると思っています。